

2025年度 香川陸協記録会 競技注意事項

1 競技規則について

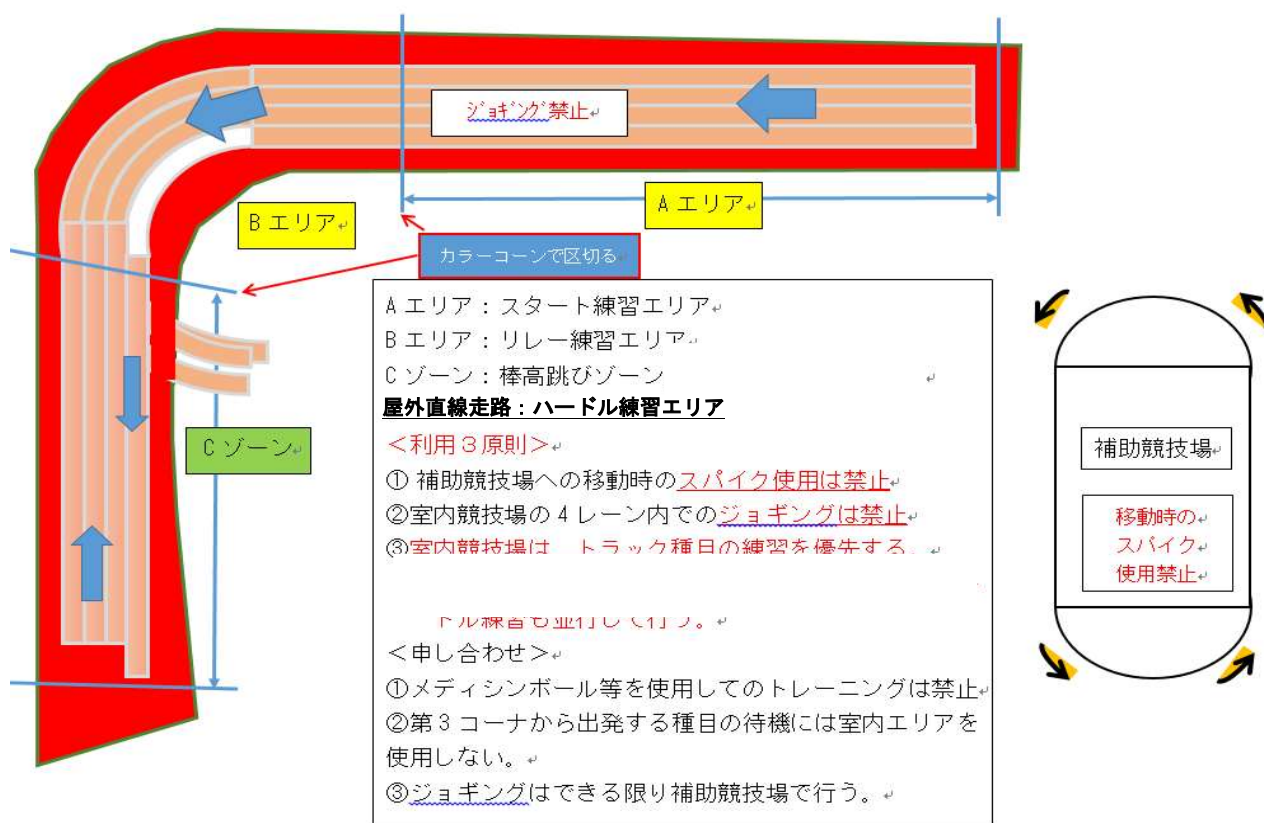
- (1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則、および、本大会申し合わせ事項により実施する。また、同連盟広告規定を参照すること。(広告規定は右を参照)
- (2) フィールド競技(走高跳・棒高跳は除く)は、3回の試技の後、記録の上位8名によるベスト8の試技を行う。



2 練習について

- (1) 下図の【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】に従い、その日に競技が行われる種目の練習を審判員の指示に従い、安全に留意して行うこと。
また、補助競技場・室内競技場内での控え場所等としての占有的な使用は禁止する。

【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】



- (2) 室内競技場に関しては、第2コーナー(1500mスタート)から第3コーナー(2000mスタート)方向へ走行すること。
- (3) 室内競技場・補助競技場での投てき練習、および、補助競技場でのスタート練習は禁止する。
室内競技場では、トラック種目の練習を優先とし、フィールド種目の練習は、競技開始1時間前から主競技場で審判員の指示に従い練習することができる。
- (4) ハードル練習は、バックスタンド下屋外直線走路で行い、室内競技場では行わないこと。
- (5) 屋内競技場の密集を避けるため、ホームストレートで直線種目の競技実施中に限り、競技に支障が出ない範囲でバックストレートを使用して練習をしてよい。
- (6) 主競技場では、9時まで練習をしてもよいが、審判員の指示があった場合は、練習を中止するなど競技運営に支障が無いようにすること。

3 競技者の招集について

- (1) トラック競技の招集所は第2コーナー外側付近に設け、フィールド種目は現地招集とする。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技は20分前、フィールド競技は30分前とする。
- (3) 招集完了時刻5分前には招集所で待機し、最終チェックを受ける。
- (4) フィールド種目は各自で入場し、招集完了時刻に競技場所で最終チェックを受ける。
- (5) 招集完了時刻に遅刻した競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (6) 「リレーオーダー用紙」は招集所で受け取り、第1組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
- (7) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する競技者は、競技開始前に「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。
- (8) 競技を欠場する場合は、「欠場届」を競技者係に提出すること。(招集所に準備されている)
- (9) リレー競技においては、チームの出場者は同一デザインのユニフォームを着用すること。

4 競技場内への入場について

競技場内への入退場は、全て審判員の指示に従い、競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。

5 アスリートビブスについて

- (1) 大きさは、横24cm以内、縦16cm以内とする。また、文字の高さは6cm～10cmで、読みやすいものとする。
- (2) 本年度香川陸上競技協会へ登録したナンバーを使用し、必ずユニフォームの胸と背に確実に付ける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背のいずれかだけでよい。
- (3) 他県の出場選手については、プログラムに記載されたアスリートビブスを使用することを原則とする。
- (4) トラック競技の800m以上の種目においては、順位確定のために主催者の用意した腰ナンバー標識をランニングパンツ（スパッツ）の右横に付ける。

6 走路順と試技順について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) 「2種目同時出場届」を提出している競技者で、事情やむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技のみについて競技順を変更して出場させることがある。
- (3) トラック競技で棄権者がある場合は、その競技者のレーンをあける。
- (4) トラック競技の予選において棄権者が多く、予選を行う必要人数以下（9名以下）になった場合、予選をとりやめその種目の決勝の時刻に決勝を行う。

7 走高跳と棒高跳のバーの上げ方について

当日の打合せによる。

8 用器具について

- (1) 棒高跳用ポール以外の用器具は、競技場備え付けの物を使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、競技場所で検査を受けて合格した物に限り使用することができる。

9 競技場使用上の注意について

- (1) 競技場使用規定を厳守すること。
- (2) スパイクピンは9mm以下を使用すること。ただし、走高跳とやり投については、12mm以下とする。
- (3) 短距離種目では、フィニッシュ後も他の競技者との接触等の危険を回避するため、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 競技場内にスマートフォン等の通信機器を持ち込まないこと。
- (5) 競技者が使用するマーカーは、リレー競技では主催者が用意した物以外の使用を認めない。他の競技では主催者が用意したもの、または、審判員の許可を得たものを使用すること。
- (6) 競技場内で出したゴミは各自で持ち帰ること。
- (7) 貴重品は各自で管理すること。

10 その他

- (1) 競技者の負傷・疾病については、応急処置以外の責は負わない。
- (2) 記録証明書を希望する場合は、受付で「記録証明書交付申請書」に必要事項を記入し、交付手数料500円を添えて申し込むこと。
- (3) 本競技会の結果は、大会ホームページの他、マスメディアによって公表されます。結果には、順位・記録の他、選手の氏名、所属、都道府県、学年を含みます。
- (4) 参加料の支払いは、競技出場前に受付で済ませてください。なお、大会期間中に支払いができなかった場合は、早急に下記まで現金書留で送付してください。

〒763-8512 香川県丸亀市六番丁1番地

香川県立丸亀高等学校内

香川陸上競技協会 競技部長 久保 圭一 宛